

ねっとわ〜く from 白鷹町

2015

年2月発行 会報NO.41より

春サクラ 夏はベニバナ 秋はアユ 冬は隠れ蕎麦屋の里

「白鷹町」は東部は白鷹丘陵、西部は朝日山系、中央を最上川が流れ、豊かな自然に恵まれた町です。また、樹齢50年以上のエドヒガン桜の古木が多いことから「**古典桜の里**」として桜の咲く時期（4月下旬～5月上旬）には多くのかたが訪れています。



夏（7月中旬）には**紅花まつり**が開催されます。現在では紅花の生産量が日本一とのこと。荒砥小学校では総合学習で紅花の栽培に取り組んでいます。



秋は**アユ茶屋**で鮎の塩焼きに舌つづみ。ヤナ場には1晩で1000匹以上の鮎がかかることもあるとか。最上川にかかるヤナ場の景色は壮観です。



3枚の写真をクリックしてみてください。

それから、おいしい**お蕎麦屋**さんもたくさんあります。キャッチフレーズは「冬」になっていますが、年中食べることができます。ぜひ食べ比べてみてください。

（詳細は[白鷹町観光協会のオフィシャルサイト](#)をご覧ください。）

思い出とともに…

町内には5つの小学校と2つの中学校があります。このうち鷹山小学校が今年度末で閉校し、荒砥小学校に統合されます。また東中学校と西中学校も今年度末で閉校し、白鷹中学校として新しいスタートを切る予定です。



◀ **鷹山小学校** …カリヨン響く丘の上、学年を超えて仲良く遊んでいる姿には誰もが笑顔になれます。



西中学校 …合唱で美しいハーモニーを奏でられる子どもたちです。統合後も卒業後も、自分を見失わず、成長し続けてほしいものです。



◀ **東中学校** …生徒会スローガン「繋」。伝統を未来に、仲間や西中や地域と心を繋ぐ…。閉校を迎える東中への感謝として何が出来るか、有終の美を飾れるよう生徒達は頑張っています。